

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月19日更新

事務事業名	農道等小規模改良事業					<input type="checkbox"/> マフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	事業部	課長名	塚本 健洋
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	日高 倫啓
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化			所属班	農地整備班	(内線)	1173
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 12	事業連番 10272	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑨ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	農業用施設に対し小規模な基盤整備を行う事業で、主な内容は以下のとおり ・農業等の小規模改良・修繕を行う。 ・農道、水路にかかる除草作業を行う。 ・機械借上により、小規模整備を行う。 ・農家からの要望で、未舗装の農道整備や簡易舗装のために材料支給(砂利、生コンクリート)を行う。
【業務の流れ】	①区からの申請 ②現場確認 ③整備作業の実施もしくは材料支給 ④実施・支給状況の確認
【主な予算費目】	・6-1-12-13 委託料からの支出 ・6-1-12-14 使用料及び賃借料からの支出 (平成28年度より使用料及び賃借料に計上していた機械借上料の分は委託料へ組み替え) ・6-1-12-16 原材料費からの支出
【意見や要望】	・特に無し

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO) 農道、水路にかかる除草の委託業務や、機械借上による整備委託業務及び農道沿いの法面修繕の委託業務を実施した。 また、3地区4件への材料支給を実施した。	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) ・農業用施設周辺の伐採・除草の業務委託。 ・排水路浚渫の業務委託。 ・農家からの要望で、未舗装の農道整備として砂利・簡易舗装のために生コンクリートの支給を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 砂利・生コン支給地区数	地区: 農業用施設周辺の伐採・除草箇所が増等に伴う委託料の増
→ イ: 生コン支給地区との打合せ回数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 農業用施設(農道、用排水路等)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア: 施工延長 m → イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設及び施設周辺の整備を行い、機能の維持・向上を図る。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア: 整備された農道延長 m → イ: 整備率/計画率 %
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 認定農業者の占める割合が高いほど効果が生まれる。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標	ア 地区		6	1	3	3	3	3	3	3	
	イ 回		3	3	9	4	9	9	9	9	
② 対象指標	ア m		770	75	500	500	500	500	500	500	
	イ										
③ 成果指標	ア m		600	75	500	500	500	500	500	500	
	イ %		100	15	100	100	100	100	100	100	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	4,938	3,619	3,724	3,455	4,092	4,092	4,092	4,092
		(A) 事業費計	千円	4,938	3,619	3,724	3,455	4,092	4,092	4,092	4,092
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	4	0	4	0	0	0	0
延べ業務時間	時間	650	750	0	720	0	0	0	0		
(B) 人件費計	千円	2,589	2,784	0	0	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	7,527	6,403	3,724	3,455	4,092	4,092	4,092	4,092		

事務事業名	農道等小規模改良事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 農道整備材料の支給について、当初目標よりも打合せ回が少なかったため、目標に達成しなかった。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 予算の範囲内での施工を検討
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 単年事業で100%近い整備ができています。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 農道・用排水路整備事業を補完する事業である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 単年度で事業完了し削減の余地は無い。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 申請地区からの労働力提供があり事業は公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

地元からの要望が多く、予算増により優先順位により執行している。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策